

ファームハーモニア

富士宮市白糸北部のひっそりとした畑に就農して3年目になります。

富士市に生まれ育ち、デザインの仕事に惹かれて上京、学校卒業後は赤坂のデザイン事務所に就職。30代になる頃には、複数のプロジェクトを任されるようになり、毎日深夜帰り徹夜の日々も。休日は数える程の暮らしでした。そんな中、あるプロジェクトで素敵な女性に出会いました。この出会いが農民への道の始まりだったとは、当時はまだ想像もつきませんでした。

彼女も深夜まで働く日々。お互いにこの生き方は違うと感じ始めていたのでしょう。彼女の農の魅力の話に刺激を受けた私は、運良く借りられた市民農園の、5m×5mという小さな畑で週末農家を始めてみました。初めて素足で畑に入った時、ひんやりとした土の感

触は何とも
言えず気持ち
ち長く、不
要なもの
を吸い取つて
くれるの
を感じた
のでした。



出発点の5m×5mの市民農園

市民農園で色々な野菜を育て、

その喜びと感動を全身で満喫していた私は、あ

るとき彼女の案内で、八ヶ岳で自然農をされている專業農家の方の畑を訪れました。自然との調和がとても美しく、静かに何かを歌いかけてくる畑で、透明感のある澄んだ瞳の農園主、三井さんに出会った時、ふっと体が軽くなるのを感じました。私もこんな人になりたいと感じた瞬間でした。

同じ年、富士宮で農家が主体となり毎年開催している大感謝祭を訪れました。祭りの生き生きとした雰囲気に触れ、私もこの仲間になりたいという思いが湧きました。その折に、富士宮で有機農予備校なる月一の研修が始まると知り、早速第一期生として彼女共々参加。ドラゴンファーム龍田さんに一年間ご指導いただきました。そして、ついに二十一年間お世話になった会社に辞める事を告げ、富士宮へ移住することになったのです。



有機農予備校で田んぼの代かき

富士宮に移住した私は、彼女と二人ログハウスのセミセルフビルドに挑戦。たくさんの方々のおかげを得て8ヶ月をかけた完成しました。翌春、家の近くの耕作放棄地が借りられ、農民としてスタートしました。先輩農家の方々が築いた実績と市農政課の方々の親身な対応がありスムーズな就農が可能となったのです。

屋号はファーム・ハーモニア。自然の摂理を大切に、調和の取れた永続的な畑を目指す事をコンセプトに、調和という意味の名前にしました。

農民として生きていく事は大変な事も多いですが、お金では買えない様々な感動や幸せに包み込まれ、人間としての本当の大切さに気づかされる毎日です。そんなささやかな喜びと想いを野菜と共に皆様にお届けできれば幸いです。

今では人生のパートナー(妻)となり、二人で新しい生き方を実現しています。(2015年7月記)



Farm Harmomiaの野菜たち

ファーム ハーモニア 鈴木 一正

就農：平成25年3月 畑の場所：富士宮市 内野

栽培面積：畑40a 栽培作物数：50種類

主力作物：露地野菜

連絡先：suzukikazumasa_miya@xk9.so-net.ne.jp

